

文京区アカデミー推進計画策定協議会

第1回 国際分科会 次第

日時：平成22年4月20日（火）18:30～20:30

於：文京シビックセンター21階 2101会議室

- 1 開会
- 2 自己紹介
- 3 分科会の進め方について
- 4 文京区の現状、課題等について
- 5 取り組む方向性の検討について
- 6 その他
- 7 閉会

《配布資料》

【資料国際－第1号】第1回分科会の進め方について

【資料国際－第2号】各分野の体系イメージ

【資料国際－第3号】各論の構成内容（案）

第1回分科会の進め方について

I 第1回分科会のテーマ

- (1) アカデミー推進計画に関わる文京区の現状を把握し、課題等を見出す。
- (2) アカデミー推進計画の、分野別計画において取り組んでいく方向性を検討する。

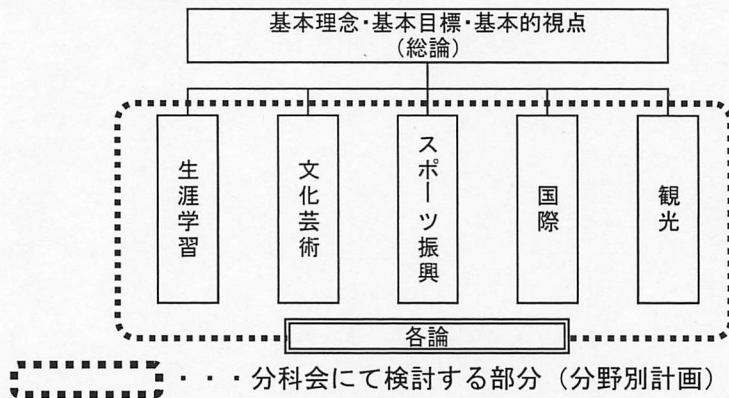
II 本日のプログラム

時間	内容	進行役
18時30分 ～ 18時35分	1. 開会・挨拶・委員自己紹介	事務局
18時35分 ～ 18時50分	2. はじめに (1) 分野別計画の位置づけについて (2) 分科会の流れについて (3) 本日のプログラムの説明 (4) 現況についての説明 (5) 質疑応答	事務局
18時50分 ～ 19時40分	3. 課題の洗い出し	座長
19時40分 ～ 19時50分	～休憩～	
19時50分 ～ 20時30分	4. 取り組む方向性の検討	座長
20時30分	5. 挨拶・閉会	事務局

Ⅲ 分野別計画の位置づけについて

計画全体における、分野別計画（分科会で検討する内容）の位置づけは次の通りである。

＜計画全体における分野別計画の位置づけ＞



◆ 総論

- ・・・基本理念や基本目標、基本的視点など、計画全体を貫く部分。今後、社会状況の変化に応じて修正を行う。

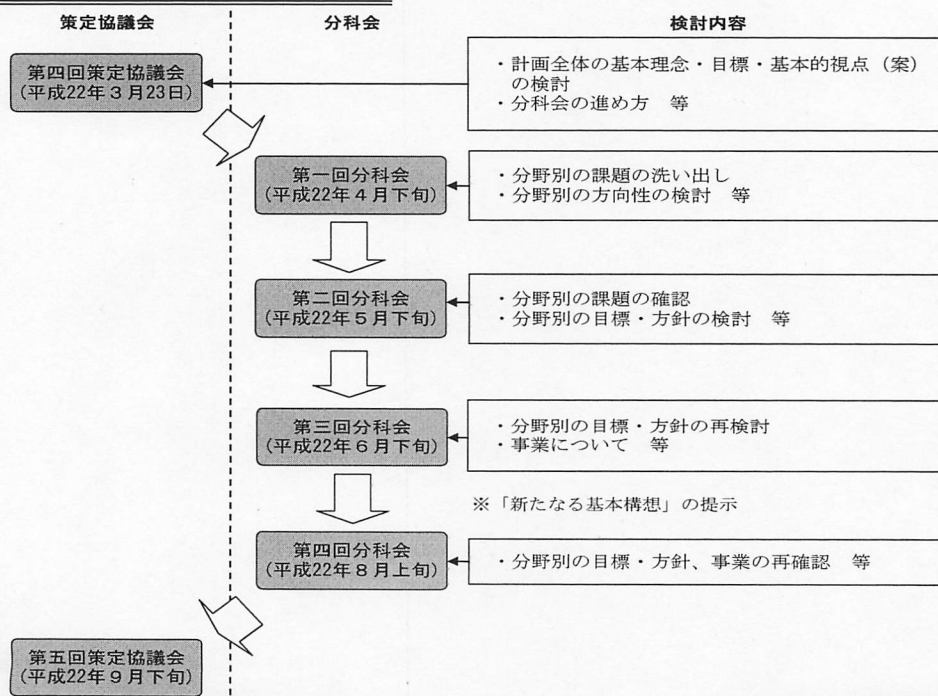
◆ 各論（分科会にて検討する分野別計画）

- ・・・各分野の計画を指す。3年を計画期間とし、その中で各事業の評価や見直しを行っていく。（ただし、各事業の目標は必ずしも3年で達成できる内容だけではない）
- ☞ 計画各論の体系イメージは【資料国際－第2号】各分野の体系イメージ、構成内容（案）は【資料国際－第3号】計画各論の構成内容（案）を参照

Ⅳ 分科会の目的

推進計画の各分野について議論を行うことを目的とする。策定協議会にて議論したアカデミー推進計画の、基本理念、基本目標、基本的視点に沿い、分野ごとの内容をより深く議論する。そして、分野別計画の事業例、数値目標例（可能な場合）等を作成する。

Ⅴ 分科会の流れについて（予定）



VI 課題の洗い出し・分野別計画の方向性検討の進め方

分科会では、参加メンバーの主体的な話し合いを促すため、座長の司会進行のもと、以下のような流れで検討を行います。

STEP 1 文京区の特徴や課題について、1人ひとりの考えをカードに書き出します

【目安時間：10分以内】

- 1枚のカードにつき1つずつ、文京区における各分野の特徴や課題を大きな字で書き出します。
 - 【黄色の付箋】 特徴を記入してください。
 - 【ピンク色の付箋】 課題を記入してください。
 - 【青色の付箋】 課題の背景を記入してください。

STEP 2 文京区の特徴や課題について整理を行います【目安時間：40分以内】

- 書き出したカードのうち、特に特徴や課題であると考えられる点を優先に話します。(1人×3分以内)
 - 書き出したカードは、事務局が模造紙上にグループ化していきます。
 - 追加したい内容やグループ分けに誤りがないかなどを、全員で話し合い、確認します。
- ※ なお、限られた時間の中で、参加メンバー全員が出来るだけ多く発言できるように、配慮してください。



STEP 3 課題に対する解決への方向性について、1人ひとりの考えをカードに書き出します

【目安の時間：10分以内】

- STEP 2で検討した課題について、解決するための方向性を書き出します。
- ※ どの課題に対する案であるかを必ず記載してください。

STEP 4 分野別計画の方向性について検討します【時間の目安：30分以内】

- 書き出したカードを、模造紙上にグループ化していきます。
- 座長の進行のもと、適宜各委員の意見を確認しながら、追加したい内容やグループ分けに誤りがないかなどを、全員で話し合い、確認します。

STEP 5 本日の検討内容を確認します

- 座長が本日の検討の成果を総括し、参加メンバー全員で確認し、考えを共有します。

Ⅶ 分科会での留意事項

分科会を実施するに当たって、参加者には次の事項について留意をお願いします。

- ・マジックインキ等の使用に当たっては、下に別な紙を敷くなどテーブルにつかないように注意をお願いします。
- ・分科会の最も大事な点は全員の積極的な参加です。参加者は主体的な行動をお願いします。特にグループの議論では全員の方が意見を出し、集約しますので、他の方の意見を聞く姿勢と全員の活発な議論をお願いします。
- ・全体の司会や進行は、座長が担当します。

参加メンバーの活発な議論を促し、より実りの多い会議とするための基本ルールを、次のとおり定めます。これらのルールを守っていただき、有意義な議論を進めたいと思いますので、ご協力よろしくお願ひいたします。

<グループ討議の基本ルール>

- ① メンバー全員が対等な立場にあり、自由な発言を行うことを尊重しましょう。
- ② 各メンバーの発言を尊重し、はじめから否定することのないよう配慮しましょう。
- ③ 限られた時間の中、各メンバーができるだけ多く発言できるように、発言時間が長くないよう配慮しましょう。
- ④ 特定の個人や団体などの誹謗中傷につながるような発言は止めましょう。
- ⑤ 全体を見渡した視点から議論を行い、特定の地域や団体などの個別利益を優先する立場に陥らないようにしましょう。
- ⑥ 意見が対立した場合、問題の所在などを明らかにした上、合意形成に向けてお互いに歩み寄りましょう。
- ⑦ いったん合意した内容は尊重し、議論を前に進めましょう。

Ⅷ 第2回分科会の検討テーマ

- ◆ 第2回分科会は、本日洗い出しを行った課題や、検討した方向性をふまえ、各分野別計画の目標・方針を検討します。

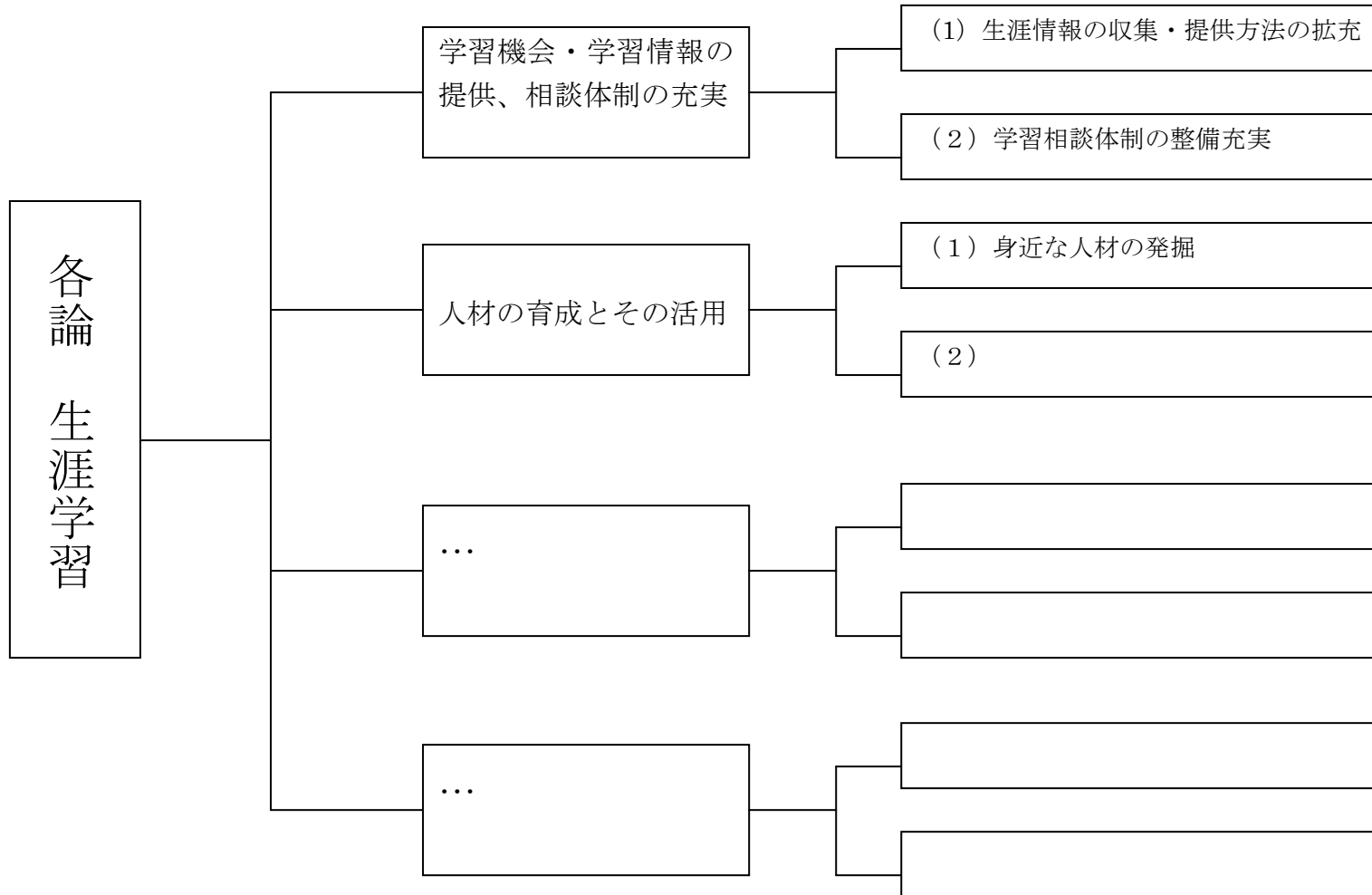
以上

各分野の体系イメージ

分野別の目標

基本的な方向

事業例



- ①情報誌面検討会議の設置
- ②総合情報掲載HPの製作
- ③…
- ①生涯学習相談室の設置
- ②相談員育成講座の開設
- ③…

各論の構成内容（案）

I 生涯学習計画の推進

1 学習機会・学習情報の提供、相談体制の充実

【現状と課題】

学習情報等の提供については、広く区民に対し区報、ケーブルテレビ、ホームページ等を通じて提供していますが、区民からは、「PR方法の検討」などが課題とされている。また、各種情報や相談体制等の充実を図ることの必要性も指摘されています。

区民の自発的な活動や多様な学習ニーズに対応するため、こうした活動を支え、さらに活性化していくため、人材や講座などの学習情報の収集をし、その情報をわかりやすい魅力的な内容で、広く区民に伝達や相談できる機会を支援する体制の確立が求められています。

【基本的な方向】

学習したいと思ったときに、気軽に希望する学習情報が入手でき、指導者や効果的な学習方法、学習グループの紹介など多様な区民の相談に応じられるような学習情報を収集整理する仕組みを検討するほか、学習意欲を具体的な生涯学習活動に結び付けていく学習相談体制の充実を図ります。

(1) 学習情報の収集・提供方法の拡充

期待される効果

- ・必要な情報が気軽に入手できることにより、学習へのきっかけづくりや各種の講座等への参加が推進される。
- ・学習情報の一元化により情報ネットワークの充実が図られ、情報が得やすくなる。

(2) 学習相談体制の整備充実

期待される効果

- ・区民の身近な学習施設において、様々な学習相談に対応できる知識や技能の相談体制を充実することにより、学習意欲に対する的確な対応が可能となる。
- ・区民が気軽に的確なアドバイスが受けられることができる。

2 人材の育成とその活用

【現状と課題】

地域には、さまざまな分野で生涯学習を実践し活動に取り組んでいる人たちがたくさんいます。これからの生涯学習を推進していくためには、潜在的な人材の掘り起こしと育成が必要となります。

本区では、平成18年度から生涯学習司、地域文化インタープリターや文京アカデミアサポーター等の地域貢献のできる人材育成講座を実施し、現在〇〇名を数えています。学んだ知識を地域に還元し、多方面にわたり活躍できる場を開拓する必要があります。

【基本的な方向】

(1) 身近な人材の発掘

地域に存在する人材を発掘し、身近な実践者の学習事例に触れる機会や、学習方法等についてアドバイスが受けられるなど、効果的な活動を進めることができるような仕組みづくりの展開を図ります。

期待される効果

- ・多彩な知識や技能を、地域等において有効活用することで、知識・技能の伝承が図られる。
- ・地域社会へ参加するという、きっかけとなる場づくりが創出される。

・
・
・

【事業】

	施策	事業例	内容
I-1	学習機会・学習情報の提供、相談体制の充実	情報誌面検討会議の設置
		総合情報掲載HPの製作
		生涯学習相談室の設置
		相談員育成講座の開設

I-2	人材の育成とその活用
	
	
	
I-3
	
	